



マツシロ株式会社

2005年度 環境活動レポート

(2005年6月～2006年5月)



□ごあいさつ

2005年10月より環境経営システム(エコアクション21)構築と認証取得活動を開始しました。

当社は紙やPP・PEといった、最終的にはごみとなる製品を取扱っています。そのため昔から環境に対しての意識は大いに持っていましたが、制度として本格的に取り組んだことはありませんでした。今回このエコアクション21の構築と認証取得を目指すことにより、全社を上げてより一層、環境に対する認識を新たに、真剣に取り組んでいきたいと考えています。

地域社会の皆さんと共に歩み、信頼されることが、当社の存在価値であり、社会に貢献することであると考えています。今年度より環境経営に取り組み継続して改善改革を続けてまいります。

2006年6月

代表取締役社長 松城幹夫

マツシロ株式会社 環境方針

当社経営理念の中に、「環境を意識し地域社会に信頼され、社会に貢献する会社を目指します」という項目があります。この理念を追求する為、全社一丸となって積極的に、自主的に環境経営システムを構築・運用し、保全活動を追及していきます。

当社の事業活動における環境負荷の低減、地域社会および地球環境の改善を行うために行動指針を制定します。

1. 地球温暖化防止のための省エネルギー
2. 資源の有効利用
3. 廃棄物の削減
4. 環境にやさしい商品生産と企画及び販売

2005年10月21日

代表取締役社長 松城 幹夫

□事業所の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
 マツシロ株式会社
 代表取締役社長 松城 幹夫
- (2) 所在地
 本社 : 大阪府東大阪市角田 1 丁目 10 番 8 号
 東京営業所: 東京都江東区新大橋 3 丁目 15 番 8 号 (適用範囲外)
 (東京営業所移転予定のため、登録に関しては 1 ~ 2 年後を予定)
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
 責任者 工務課係長 : 南野 幸伸 TEL : 0729-62-1431
 担当者 本社 総務課: 赤滝 聡子 TEL : 0729-62-1431
 (連絡先: 本社)
- (4) 事業内容 (認証・登録の活動範囲)
 紙袋及び袋物全般の製造・企画・販売
 雑貨小物の製造・企画・販売
 具体的商品例: リサイクル 100%ペーパー使用紙袋・ポリプロピレンビニール被せ紙袋
 レジかご対応バッグ (エコ楽バッグ)・環境対応買い物袋 等
 ホームページ: <http://www.m-elitebag.co.jp>
- (5) 事業の規模
 主要製品生産量 459 トン/年
 従業員 45 名 (内 東京 3 名)
 本社工場延べ床面積 3,976 m²
 東京営業所延べ床面積 232 m² (適用範囲外)

□環境目標とその実績

当本社工場における主要な環境負荷と環境目標及びその実績は次のとおりです。

項 目	年度	2004 年	2005 年		2006 年	2007 年
		(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
二酸化炭素排出量	総量 (kg-CO ₂)	160,187	—	155,056	—	—
目 標	電力	175,755	170,482	173,886	168,725	166,967
	自動車燃料	10,089	9,988	10,030	9,887	9,786
廃棄物排出量	総量 (トン)	38	—	35	—	—
目 標	一般廃棄物	24.8	24.6	23.2	24.3	24.1
	コピー用紙削減	625	619	645	613	606
総排水量	総量 (m ³ /年)	600	570	544	564	558

上記の目標のほか、以下の取り組みを推進する。

- ① 環境にやさしい商品生産と企画及び販売
 - リサイクル 100%再生紙仕様商品の販売量の増加
 - 紙・プラ完全分別可能商品の販売量増加
 - レジ袋削減促進買い物袋の開発販売

□環境活動の取り組み計画と評価

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
①電力の削減 ・エアコンの温度設定 事務所：冷房 27℃ 暖房 21℃ 工場：冷房 26℃ 暖房 22℃ ・不要時の消灯	目標：170,482kwh 実績：173,886kwh 率：102%(増加)	・残念ながら未達成、後もう少しまで来ている ・意識の浸透が図れつつある ・行動を徹底する ・クールビズ・ウォームビズの実施
②自動車燃料の削減 ・急加速の抑制 ・無駄な使用の抑制	目標：9,988ℓ 実績：10,030ℓ 率：100.4%(増加)	・ほぼ達成もあと少しのところ、残念 ・現在取り組み中 ・行動の徹底を促す
③一般廃棄物の削減 ・リサイクルごみと一般ごみの分別 ・裏紙の使用 ・ミスコピー・ミスプリントの防止	目標：24,552kg 実績：23,194kg 率：94.5%（削減）	・達成、このまま取り組んでいく ・裏紙使用は出来つつあるがアナウンスにより徹底する ・ミスプリントなどの取り組みを強化
④コピー用紙の削減 ・裏紙使用 ・ミスコピー及びミスプリントの防止	目標：619kg 実績：645kg 率：105.8%(増加)	・未達成、まだまだミスプリント、ミスコピーが多い ・裏紙使用は出来つつあるがアナウンスにより徹底する ・ミスプリントなどの取り組みを強化
⑤節水 ・節水の呼びかけ	目標：570 m ³ 実績：544 m ³ 率：85.4%（削減）	・達成、このまま取り組んでいく ・意識は高くなっている
⑥環境配慮製品の開発及び販売促進 ・リサイクル100%再生紙仕様商品の販売量の増加 ・紙・プラ完全分別可能商品の販売量増加 ・レジ袋削減促進買い物袋の開発販売		・企画開発は順調 ・生協などへの導入が決定 ・E A 2 1 取得を強みにし、販売力をより強化していく行動をとる
<p>総括</p> <p>・まだ取り組み中ではあるが、全体に意識は持つようになってきている。本格的に取り組む次年度より、目標を意識しての取り組みが出来るように考える。</p>		

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される施設等
騒音規制法	製袋機・断裁機
包装容器リサイクル法	包装資材商品
フロン回収・破壊法	業務用エアコン

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

以上